

## 職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	私の夢の話	事務局	407
学校名	酒田市立第四中学校	氏名	遠田幸生

私の将来の夢は教員になることだ。そのきっかけは、私の父が高校の教員をしていて、その姿に憧れて私も教員になろうと思ったからだ。同じ夢を持つ人と出会ったり、職場体験学習や普段過ごしている中で感じたことなどをもとに、どんな教員になりたいかを考えてみた。

時は、一年と半年ほど前。私は中学生になった。入学して間もない頃に、とある人と出会った。その名も芳賀くん。彼と話していると彼も教員になりたいという夢があることを知り、私は同じ夢を持つ人がいるということとても嬉しかった。その後、彼とは委員会などで一緒になり、さらに交友を深めていき、今も大事な親友の一人となった。彼と出会い、私は彼と一緒に夢を追いかけたいと思い、二年生の九月にある、職場体験学習で同じところに行くことにした。

職場体験学習では私の母校である宮野浦小学校へ行った。宮野浦小学校へ行った理由は教員の魅力や、教員について様々な知りたいことを知ったり、疑問を解決することができると思ったからである。私たちは実際に行く前に事前学習などをして、宮野浦小学校へ行った。

職場体験学習は二日間にわたって、低学年のクラスに実際に入って、授業の手伝いなどをしたり、実際に授業を行ったりした。また、宮野浦小学校が行っているマイプラン学習（自由進度学習）や、フリースタイルプロジェクト（個人研究学習）の見学も行った。さらに疑問の解決のため、小学校のときの担任の先生にインタビューをしたりした。私はそこで様々なことを見聞きして、教員の魅力や大変さ、そして事前学習で気になったことや疑問の解決などができた、充実した二日間だった。まず、そこで感じた教員の魅力は、生徒と一緒に授業を創っていく楽しさや、生徒が内容をわかってくれたときの達成感だと思う。特に実際に授業を行ってみて、みんなで授業を創っていく楽しさを実感することができた。また、生徒が内容をわかってくれた時の達成感はひとしおであった。その一方で、教員は授業準備や生徒指導などの様々な仕事をこなす必要があり、そこが教員の大変さだと感じることもできた。そして、小学校のときの担任の先生にインタビューをして、事前学習のときに気になったことや疑問などを解決することができた。その中でも印象的だったのは、「学び続ける教師」とはどのような姿であるか、という質問をした。その質問に対し、「教員は常にアップデートし続けるべきである」と答えてくれた。また、自身が学び続けることで学ぶ楽しさを教えることができる、とおっしゃっていた。この二日間でとても多くのことを学ぶことができた。だからこそ、どんな教員になりたいかのヒントを得ることができた。

さらに、私は読んだ小説からどんな教員になりたいかのヒントを得ることができた。その小説では『私はみんなに夢を抱きたいと思えるような手助けをしたい。』とあり、私もこのような存在になりたいと思った。また、みんなの“想い”を大切にできる人になりたいと思った。

私はここまでのことを踏まえて、「こんな教師になりたい!」ということを考えてみた。ひとつは、「生徒と一緒に授業を創っていける教師」。もうひとつは「生徒に夢を抱きたいと思えるような手助けができる教師」である。みんなが学ぶ楽しさを実感できるような授業を創り、みんなに夢を抱きたいと思ってもらえるような手助けをできる教員になりたいと思った。これからたくさん努力を積み重ね、芳賀くんと共に夢を叶えられるように歩んでいきたい。